

大学図書館の現状と課題



東京大学附属図書館
田中成直

平成23年11月15日 大学図書館職員短期研修

目次

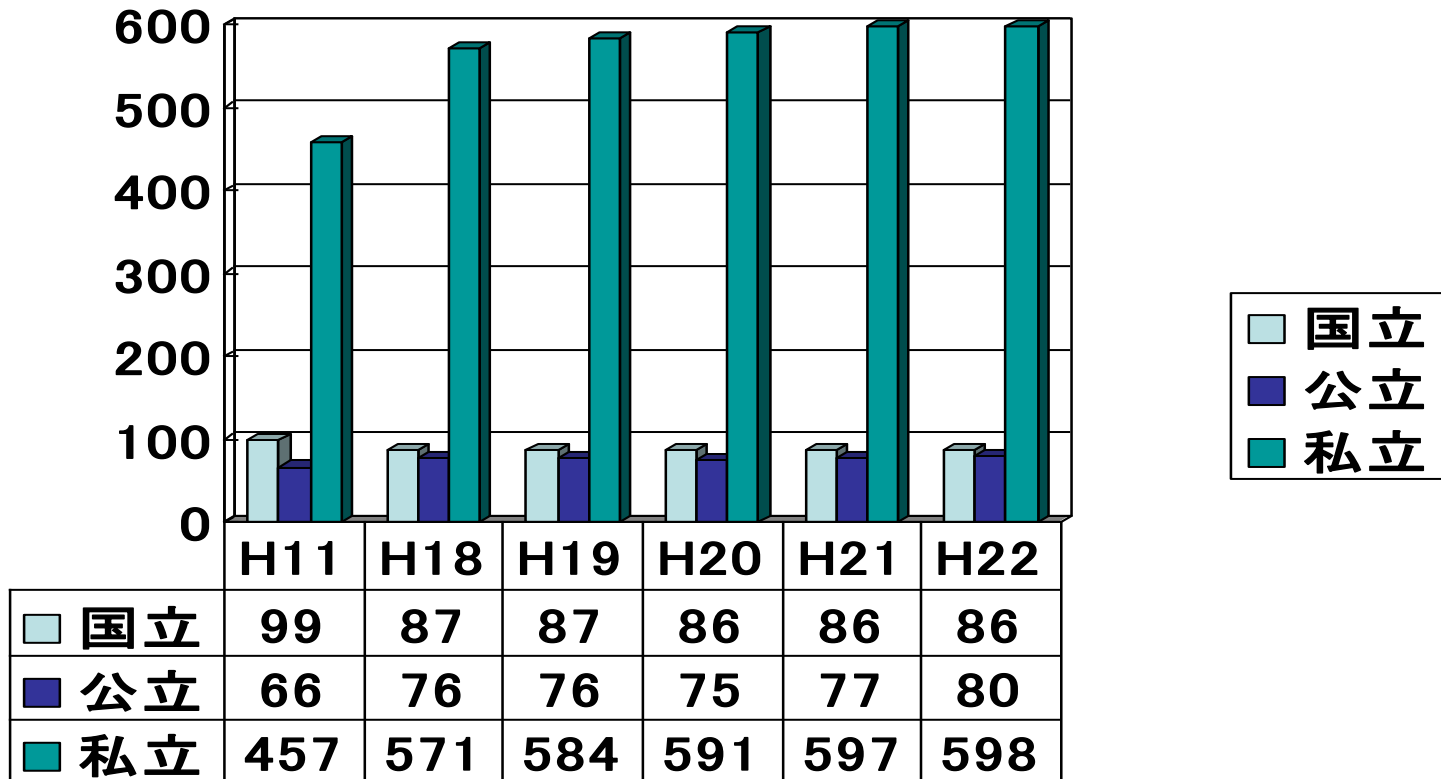
1. 大学を取り巻く状況
2. 大学図書館の現状
3. 大学図書館の課題
4. 大学図書館政策

1. 大学を取り巻く状況

- 国立大学、公立大学の法人化
- 護送船団方式→規制緩和・競争原理の導入
- 大学の数の増加と18歳人口の減少
- 人員、予算の減少、業務委託の拡大
- 情報通信技術の進展
- 目標管理、評価制度の導入

大学数の推移

学術情報基盤実態調査結果報告 平成22年度 文部科学省より

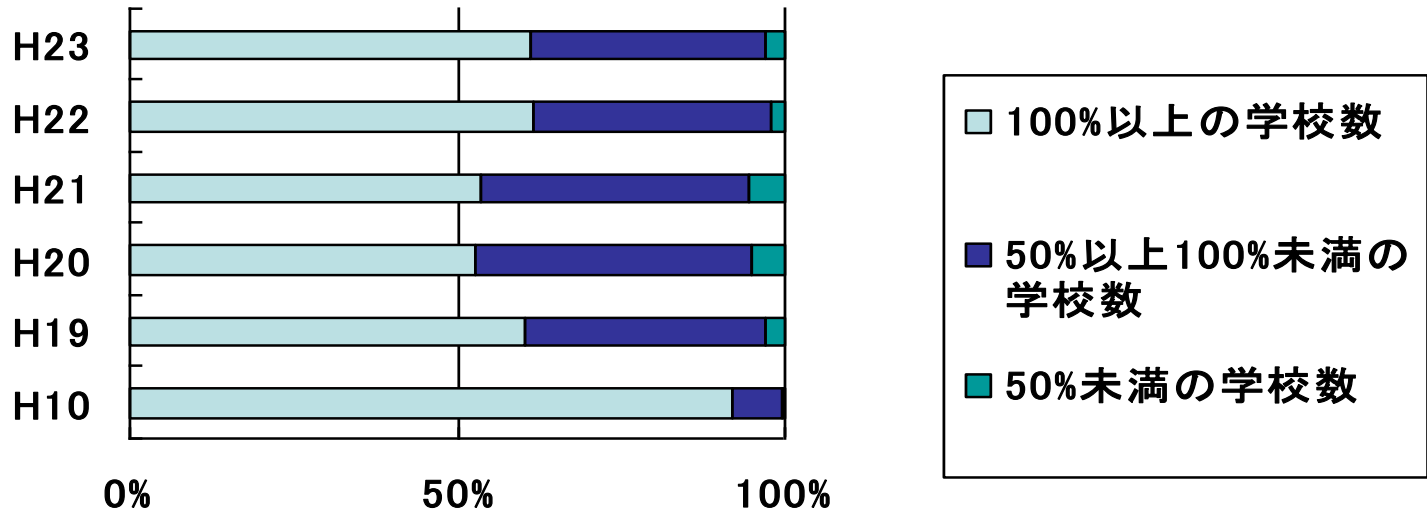


私立大学の定員割れ

日本私立学校振興・共済事業団

「平成23年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より

定員割れ学校数の推移

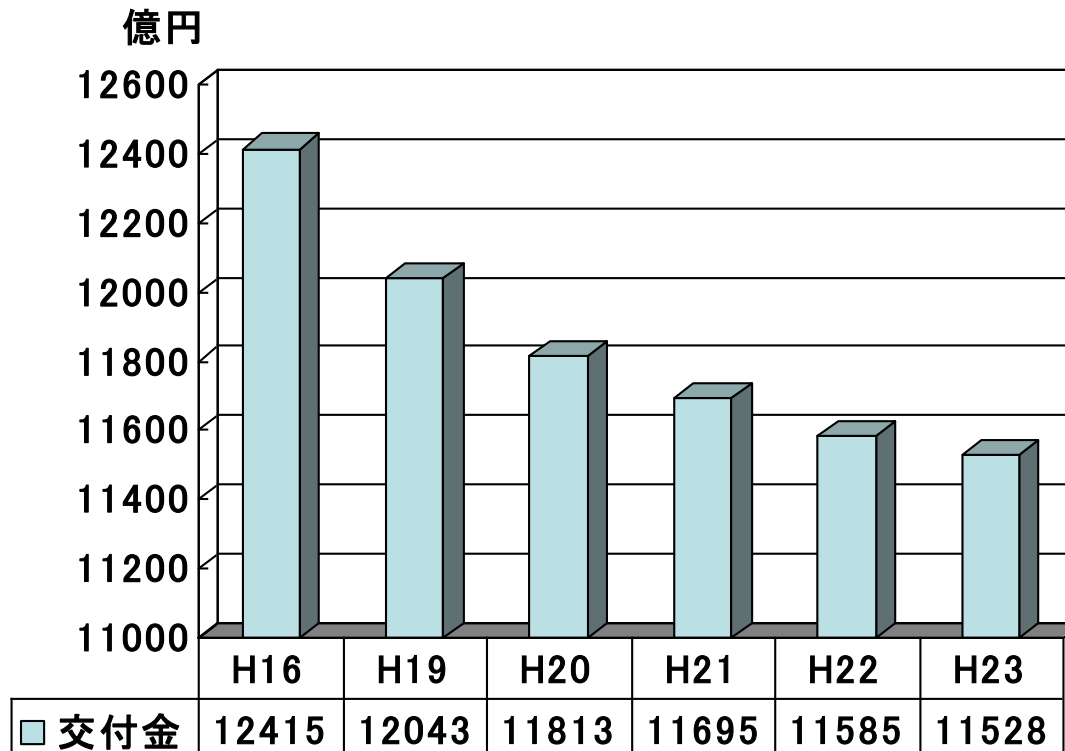


	H10	H19	H20	H21	H22	H23
■ 50%未満の学校数	1	17	29	31	13	16
■ 50%以上100%未満の学校数	34	205	237	234	205	207
■ 100%以上の学校数	404	337	299	305	351	349

国立大学の財政状況は

文科省ホームページより

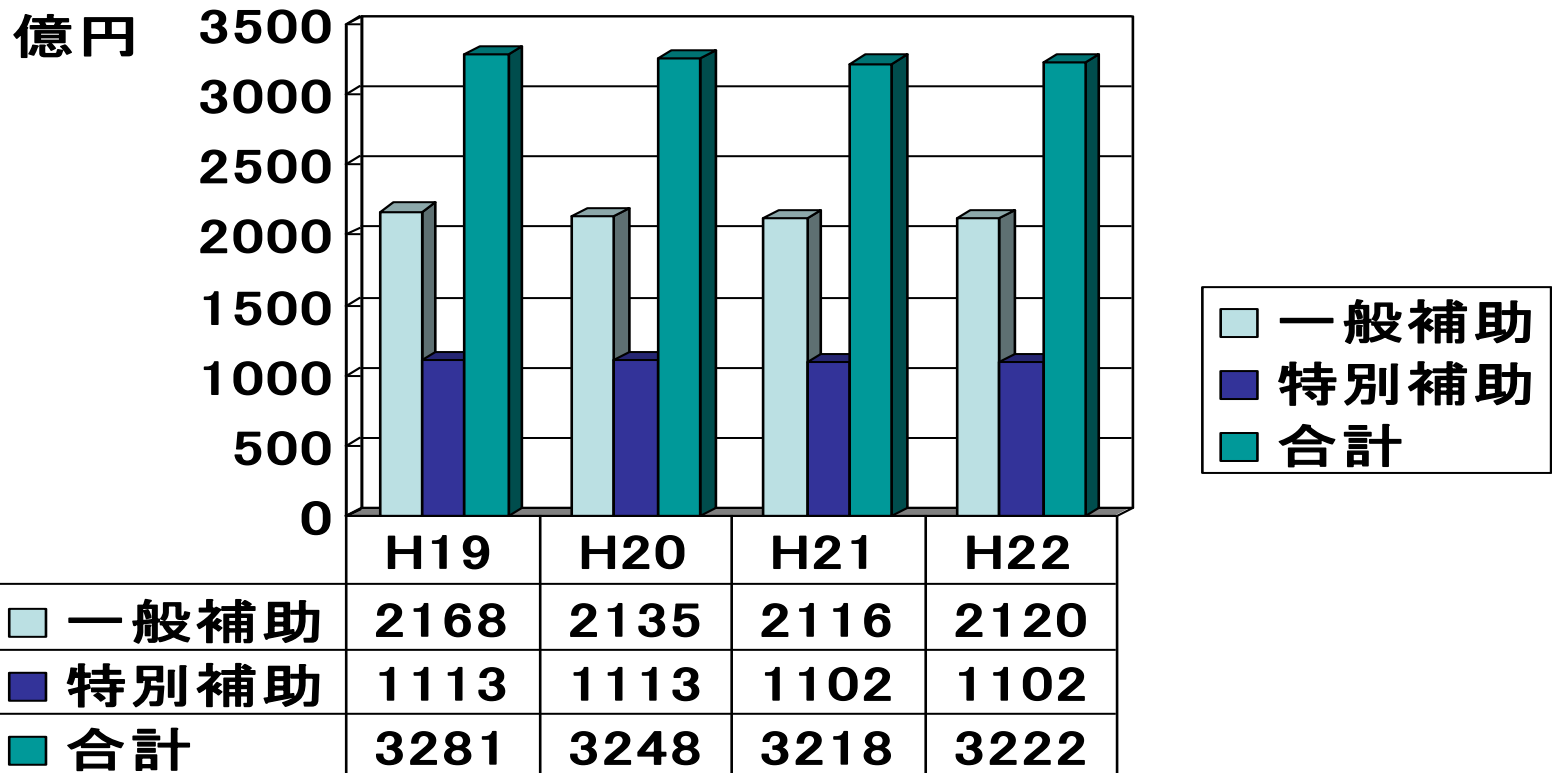
国立大学法人運営費交付金



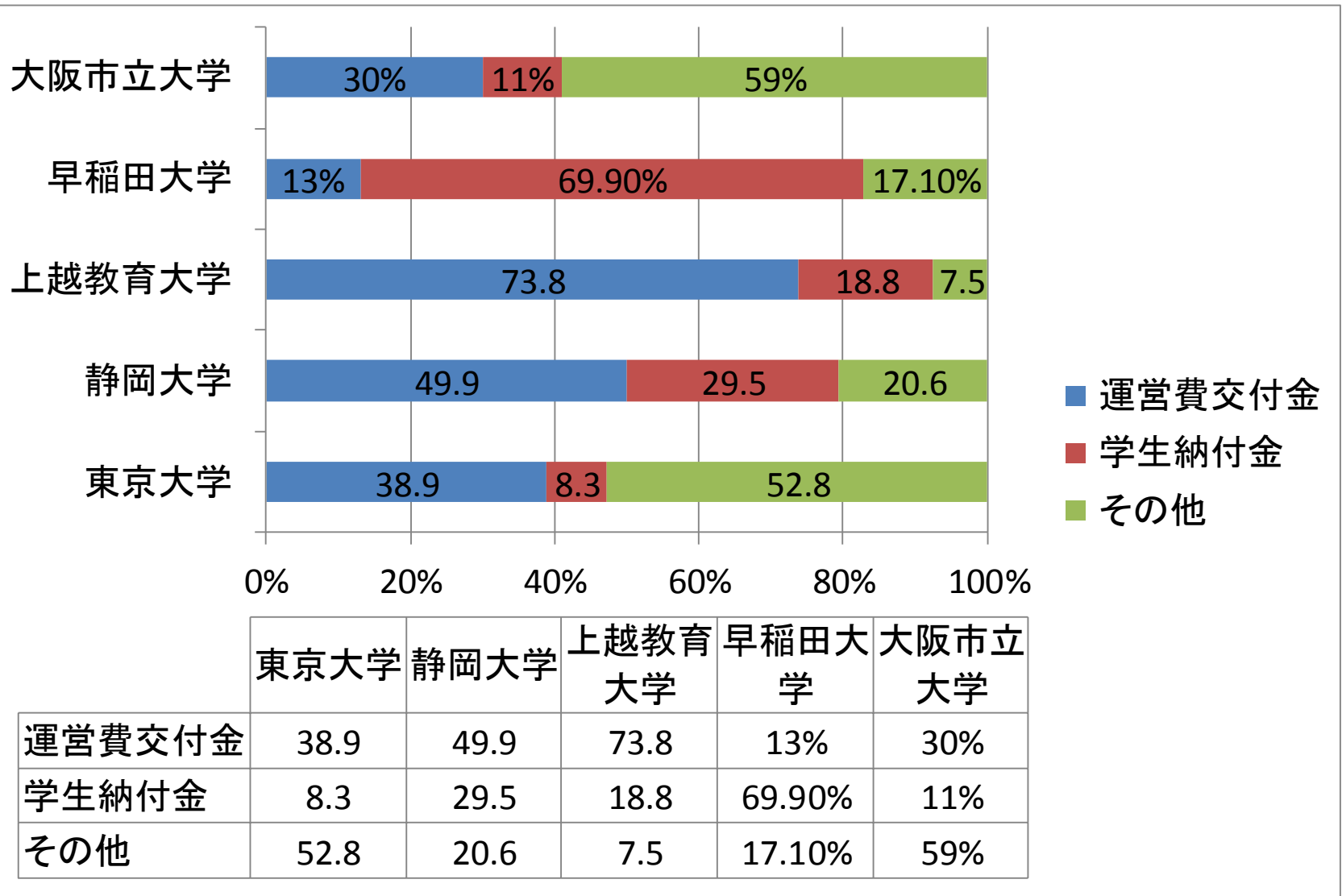
国立大学法人運営費交付金は毎年1%削減

私立大学への補助金は

日本私立学校振興・共済事業団ホームページより

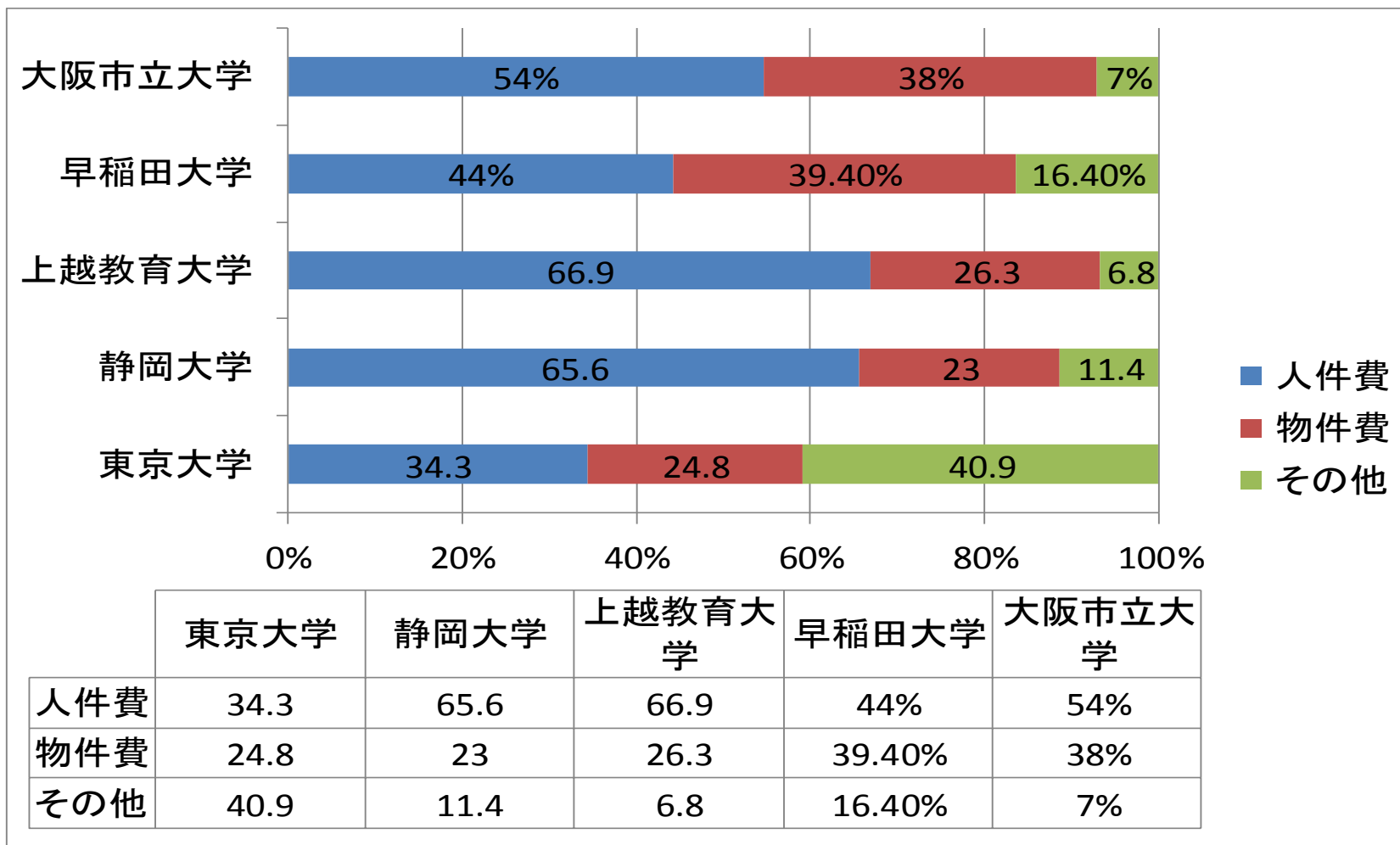


大学の収入の比率



各大学ホームページより作成(平成21年)

大学の支出の比率



	東京大学	静岡大学	上越教育大学	早稲田大学	大阪市立大学
人件費	34.3	65.6	66.9	44%	54%
物件費	24.8	23	26.3	39.40%	38%
その他	40.9	11.4	6.8	16.40%	7%

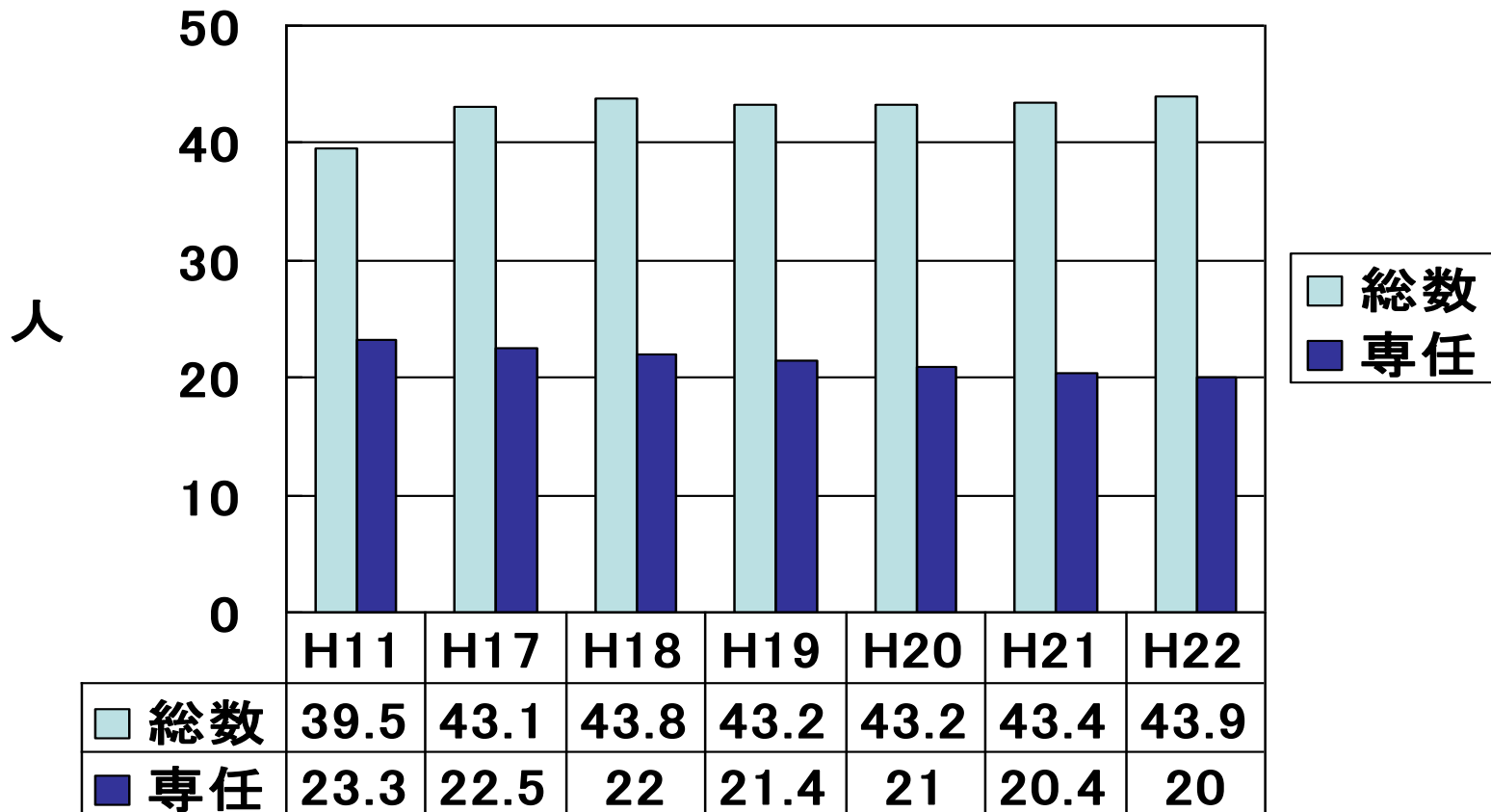
2.大学図書館の現状

平成22年度学術情報基盤実態調査結果報告より

- 職員
- 資料
- 予算
- サービス
- 電子ジャーナル利用可能タイトル数
- 機関リポジトリ構築大学数
- アウトソーシング

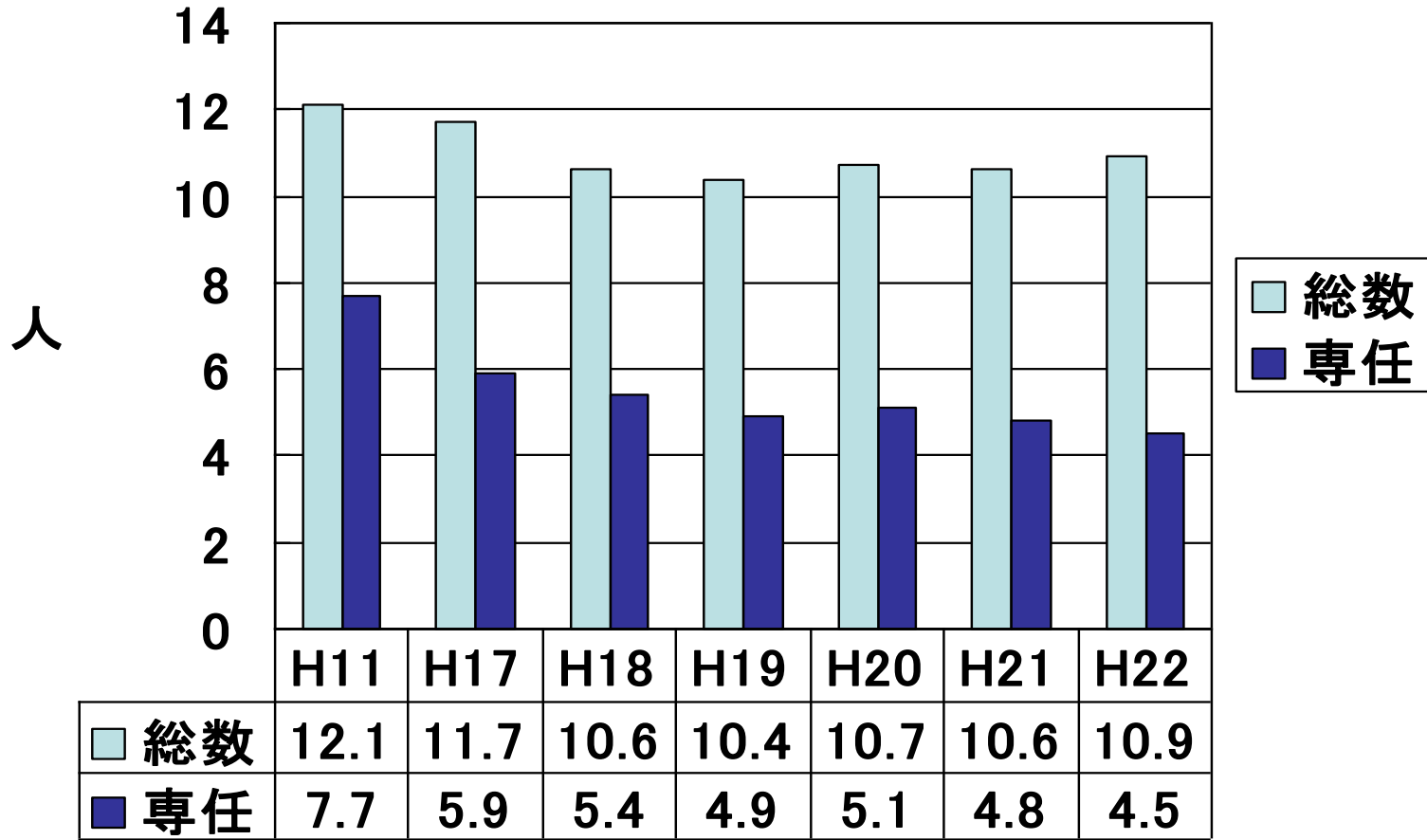
職員数(国立大学)

一大学平均



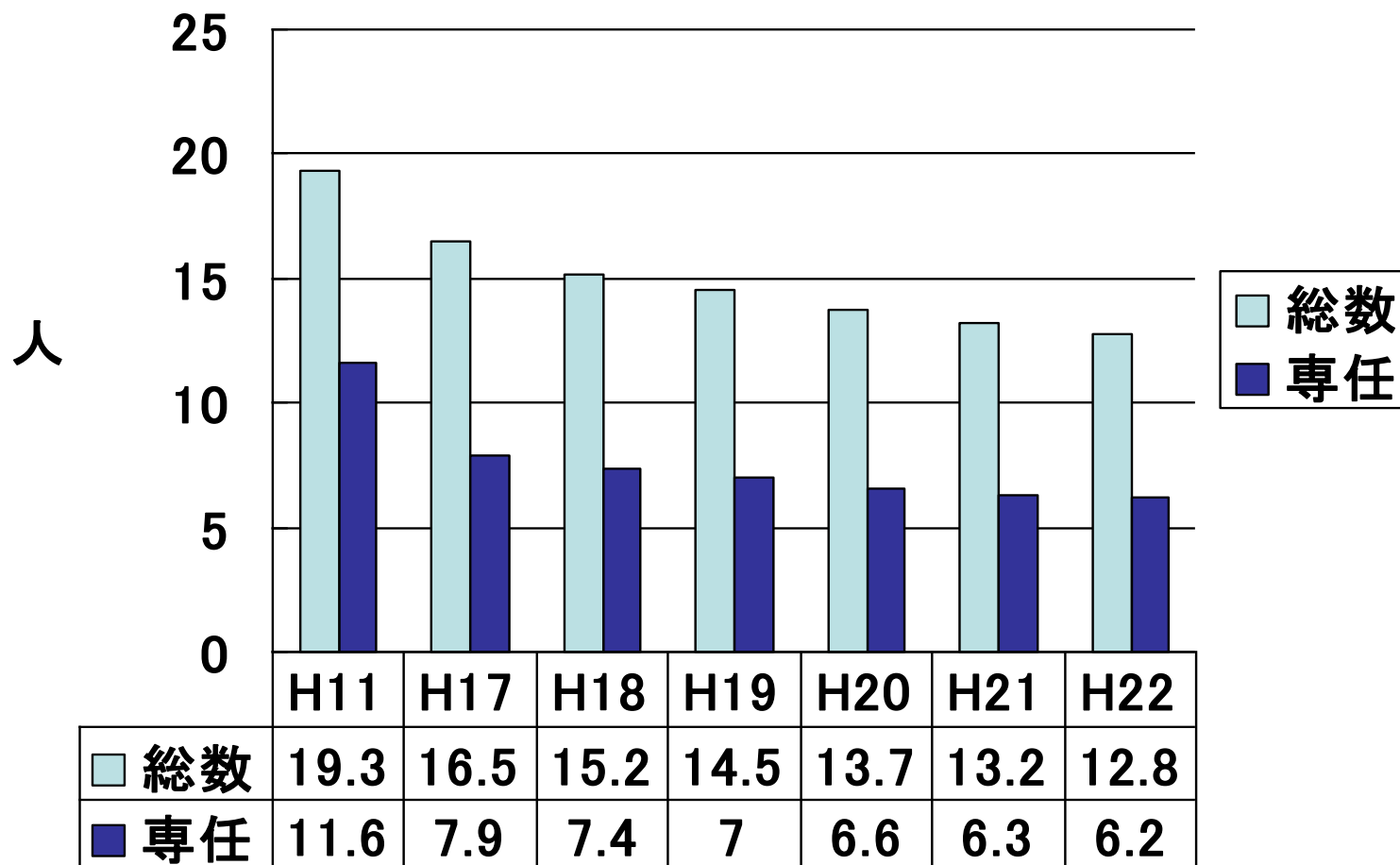
職員数(公立大学)

一大学平均



職員数(私立大学)

—大学平均



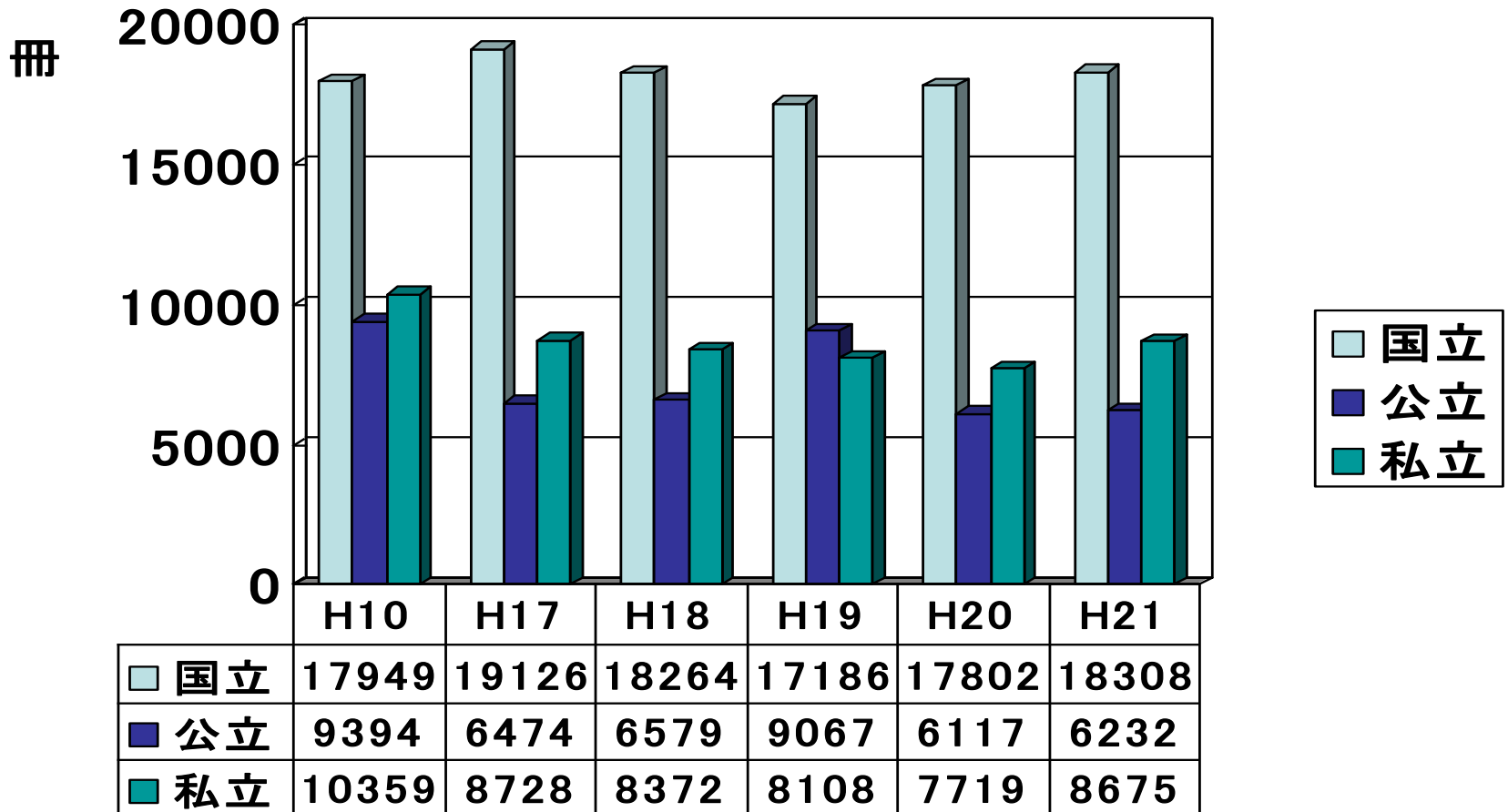
業務委託の状況

文科省「学術情報基盤実態調査」「大学図書館実態調査」

業務の内容	平成15年			平成21年		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立
目録所在情報DBの作成	17	24	127	24	23	277
原文情報DBの作成	2	3	39	8	4	63
コンピュータの運用	5	29	208	24	33	247
複写	4	9	37	16	6	131
製本	68	52	395	172	49	476
受付・閲覧	16	16	96	36	19	253
清掃	73	62	386	193	92	540
警備	54	56	304	140	71	415
その他	22	12	43	45	22	112
合計	261	254	1635	658	319	2514
				2.5倍	1.3倍	1.5倍

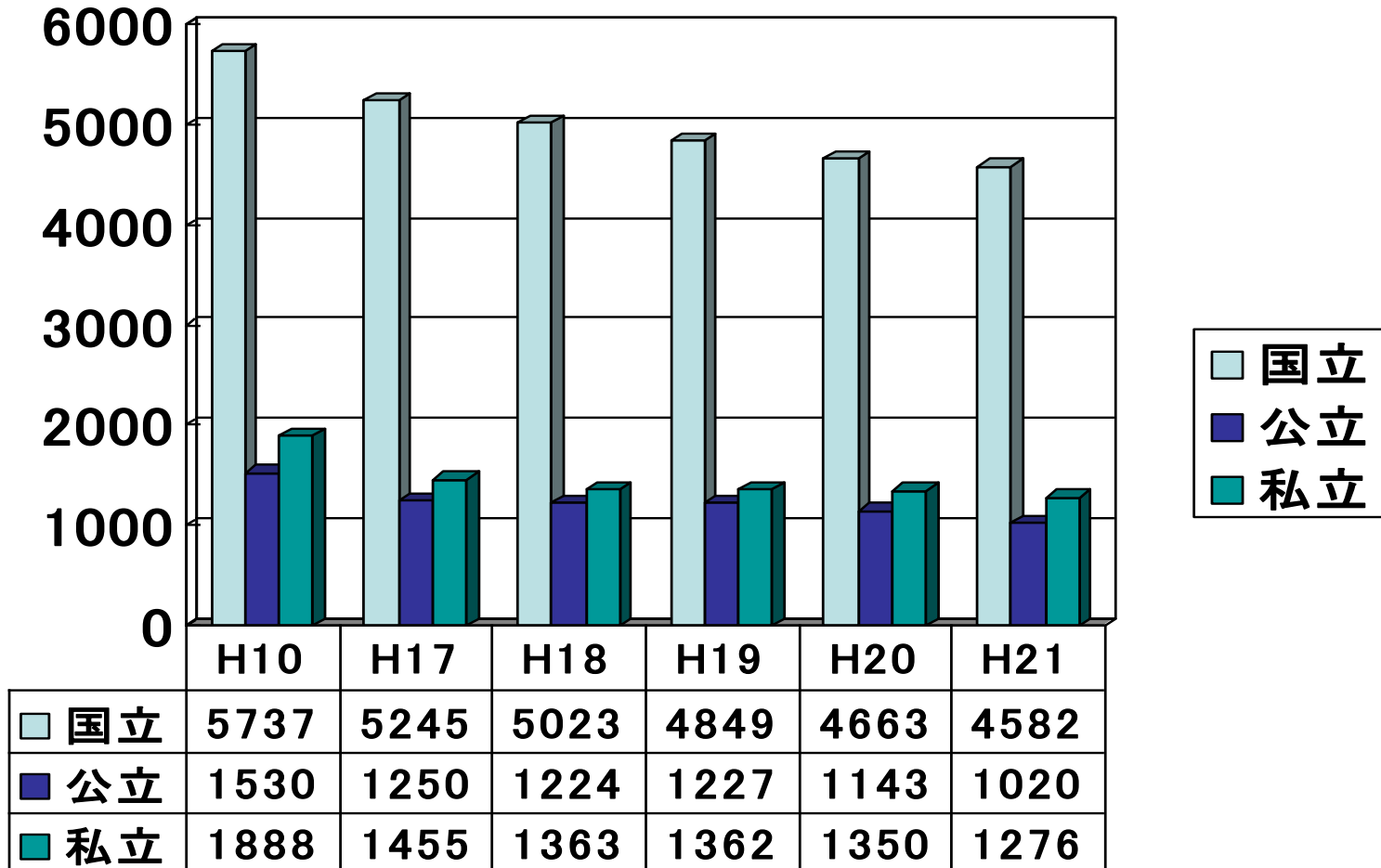
図書受入冊数

—大学平均



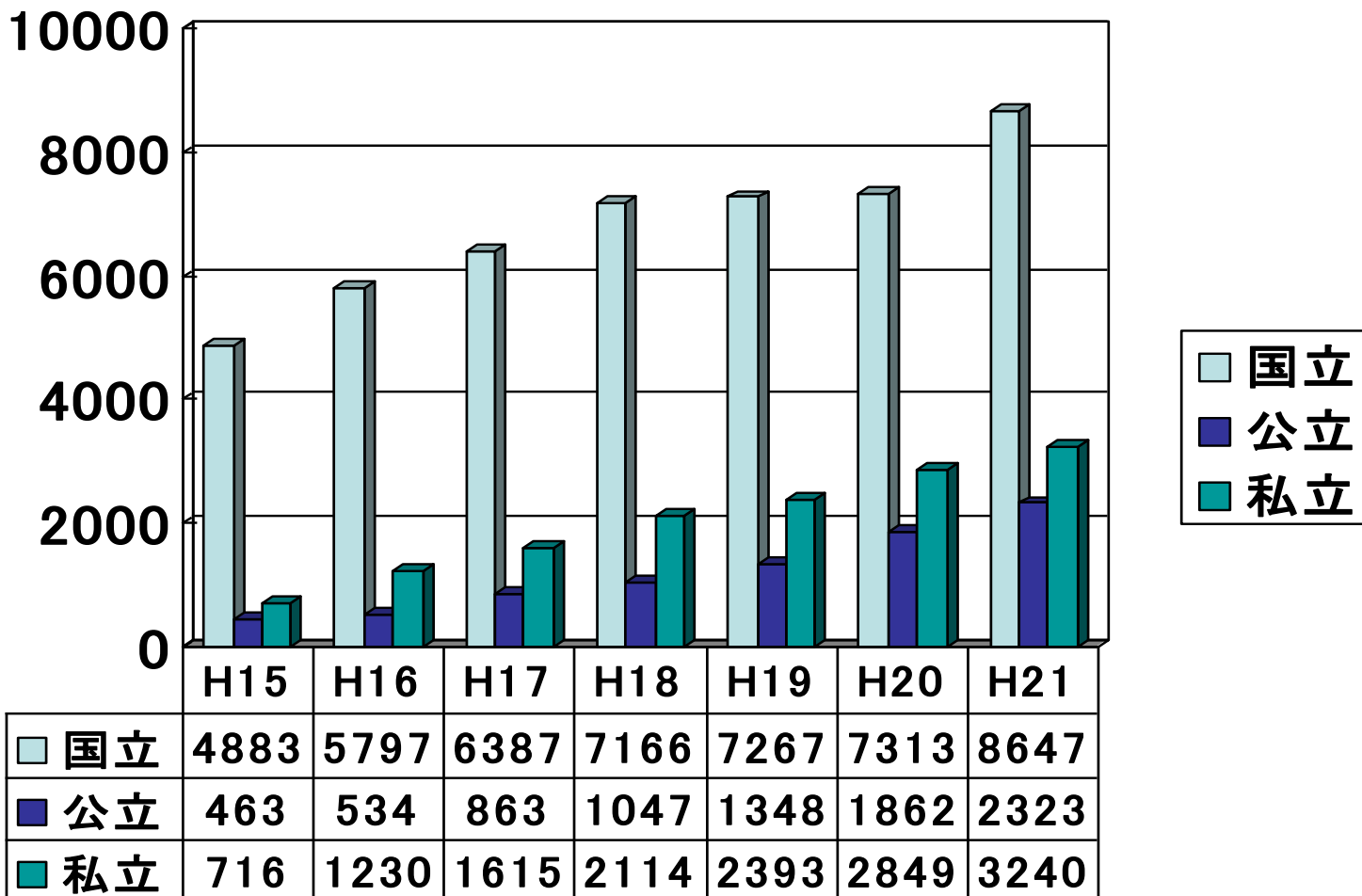
雑誌受入種類数

—大学平均



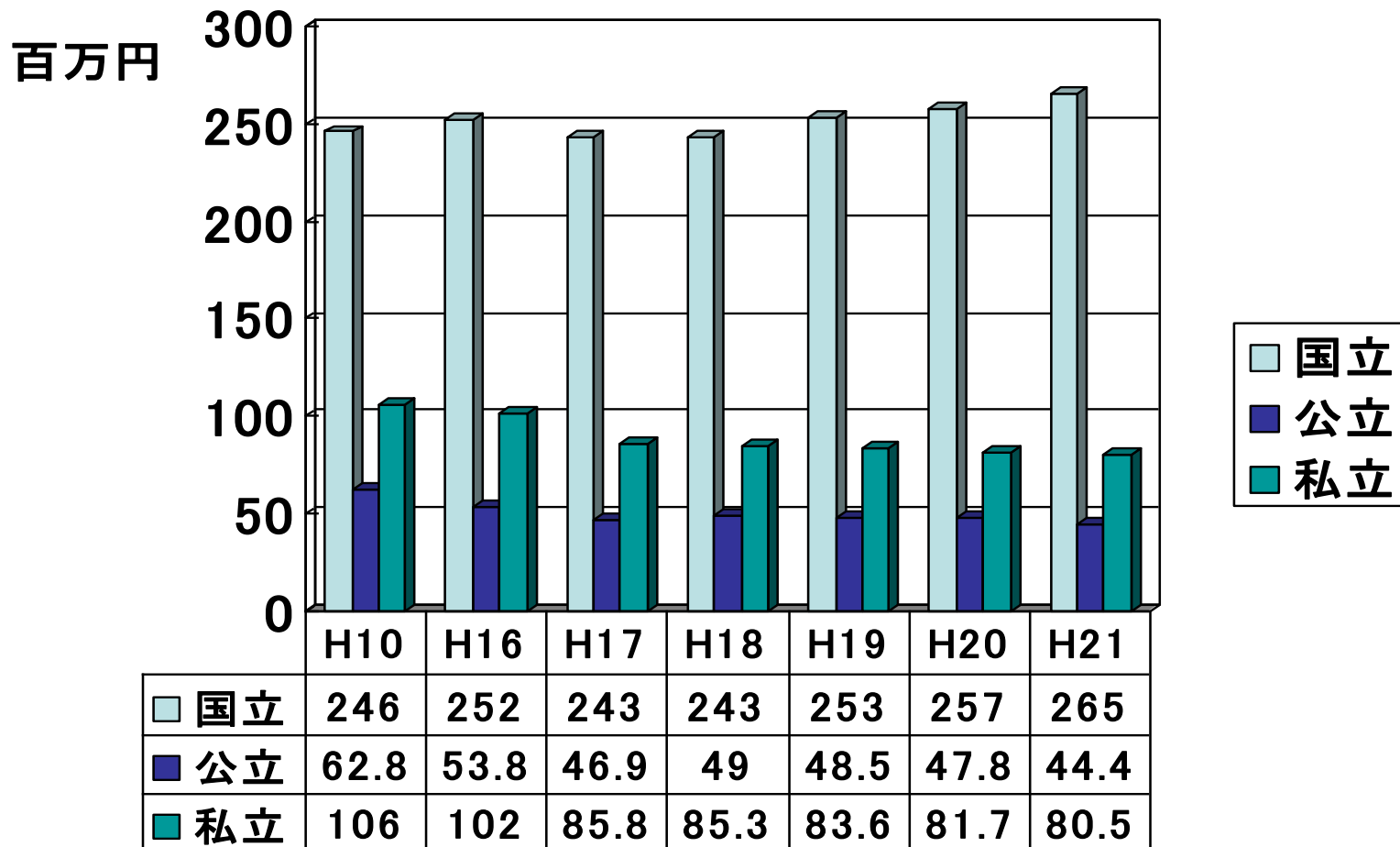
電子ジャーナル利用可能タイトル数

—大学平均



図書館資料費

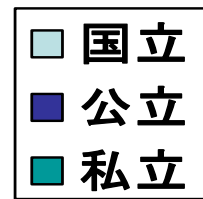
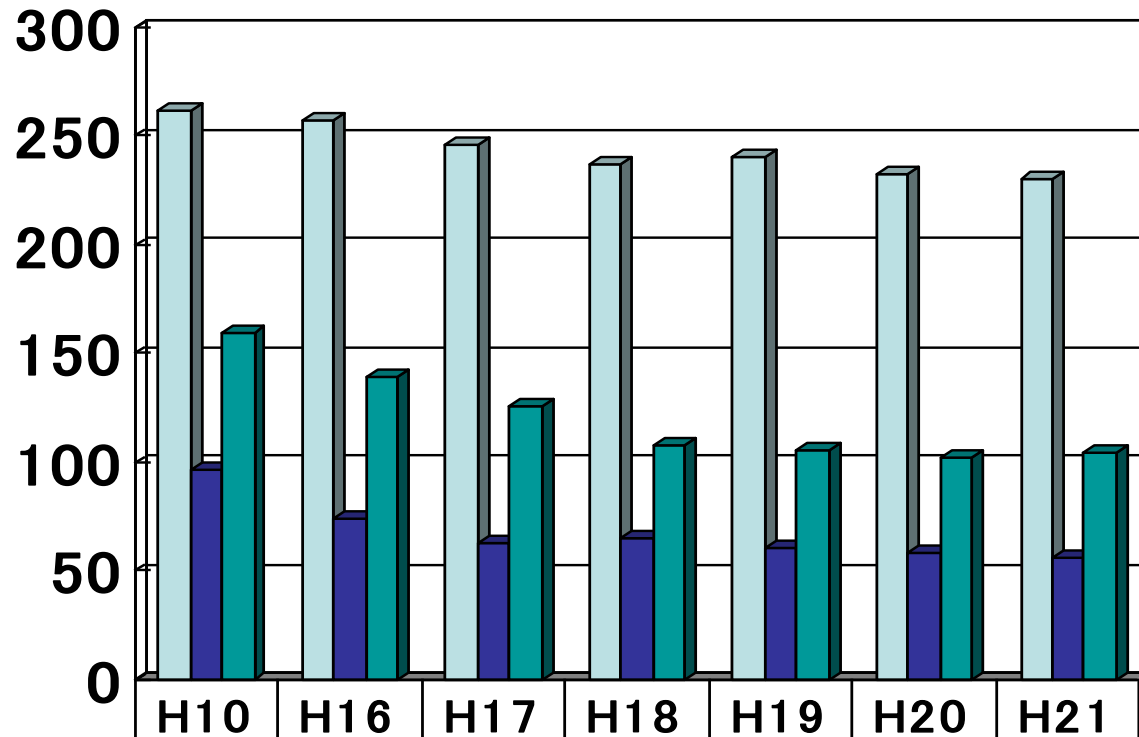
—大学平均



図書館運営費

—大学平均

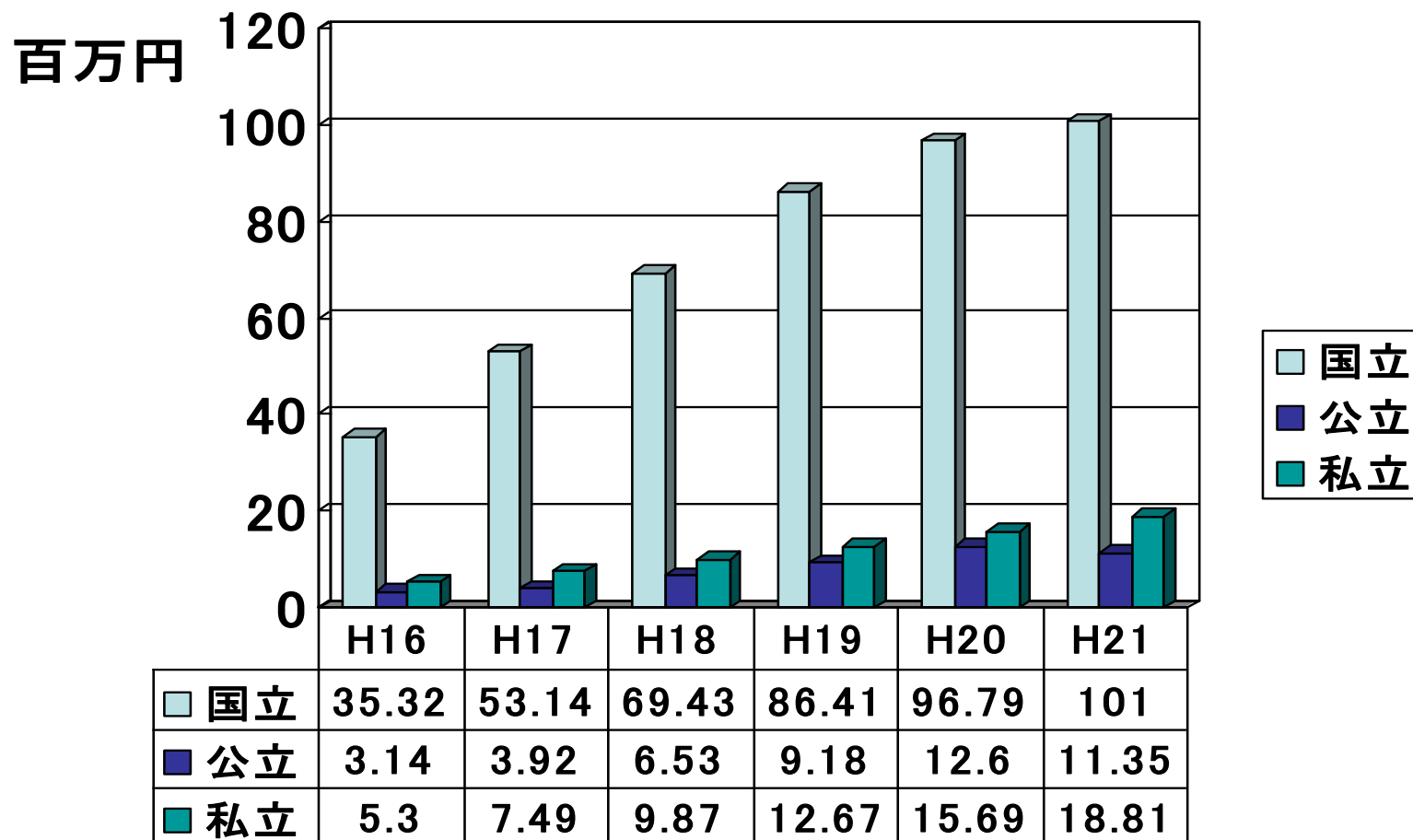
百万円



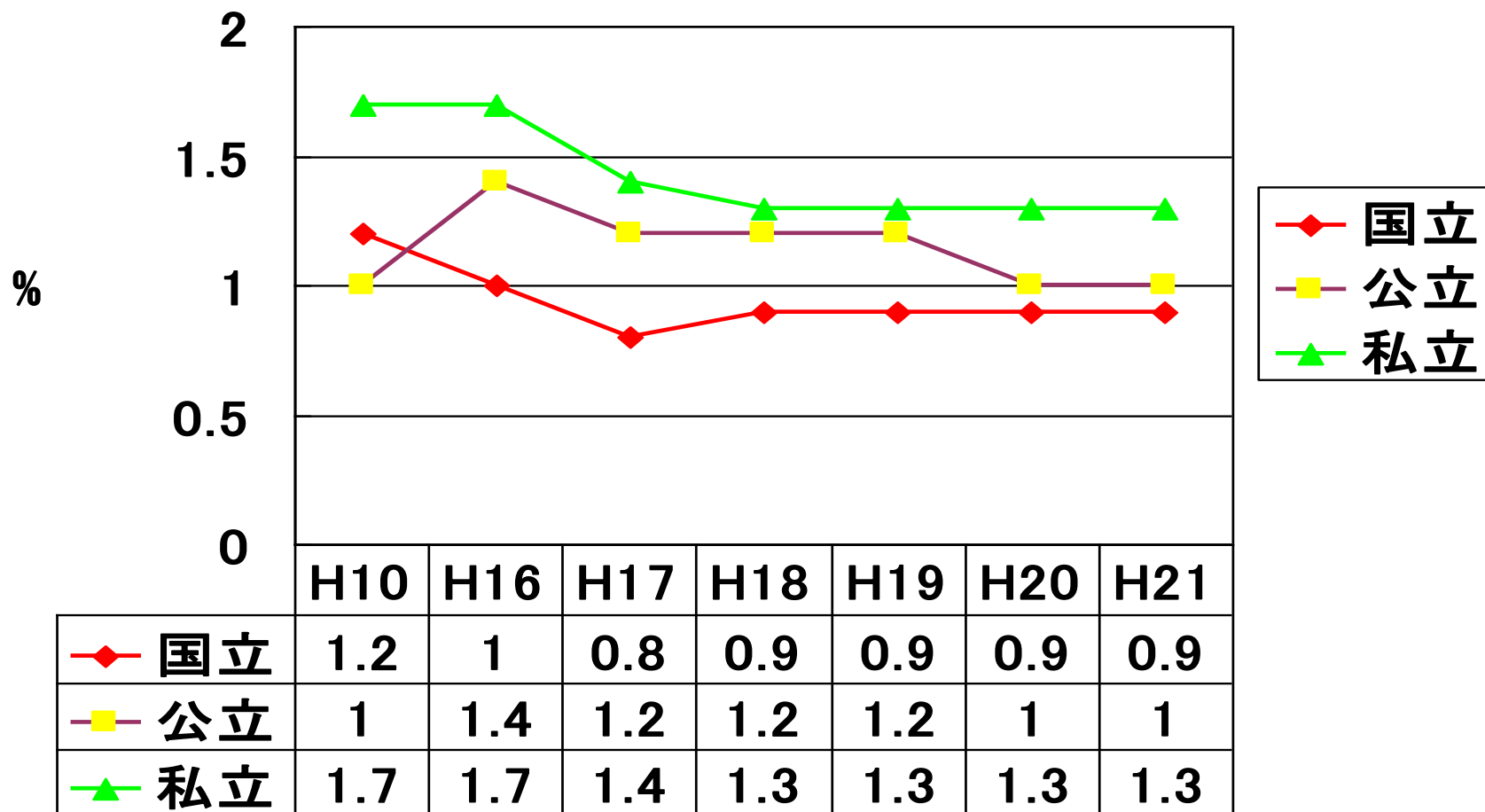
国立	261	257	246	238	240	233	231
公立	96.7	74.6	63.2	65.6	60.2	58.9	55.8
私立	160	140	126	108	105	102	104

電子ジャーナル経費

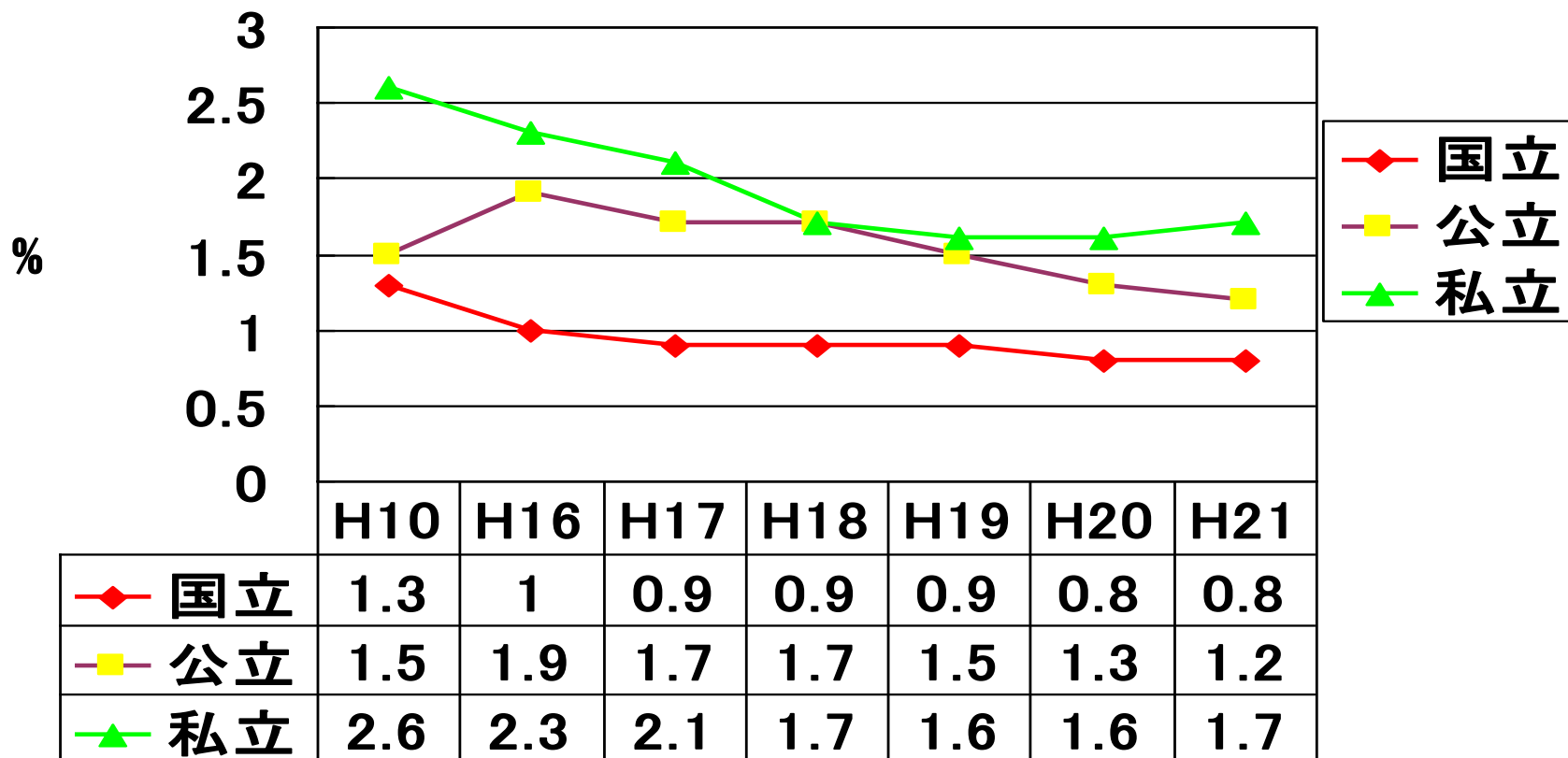
—大学平均



大学総経費に占める図書館資料費の割合

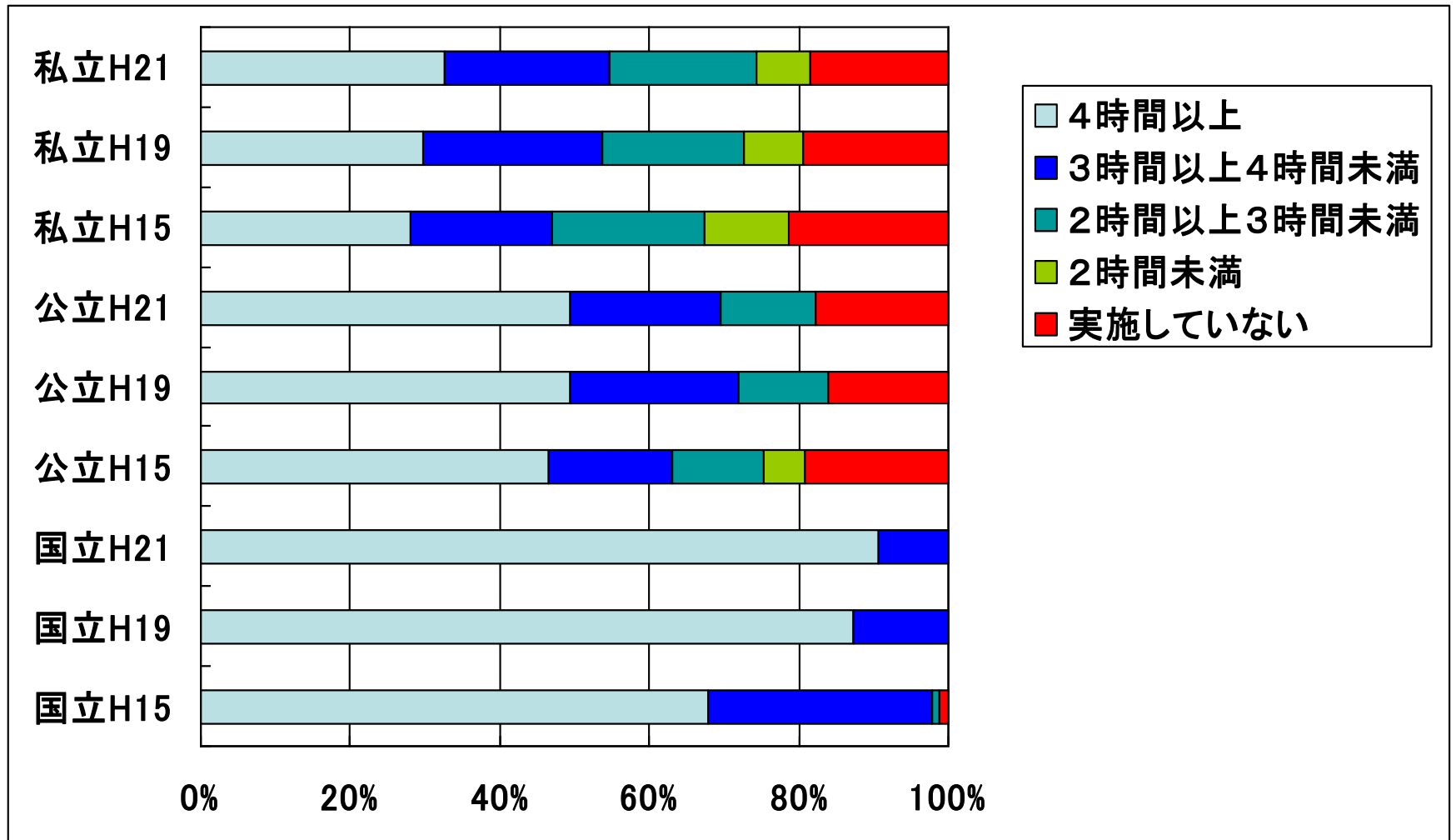


大学総経費に占める図書館運営費の割合



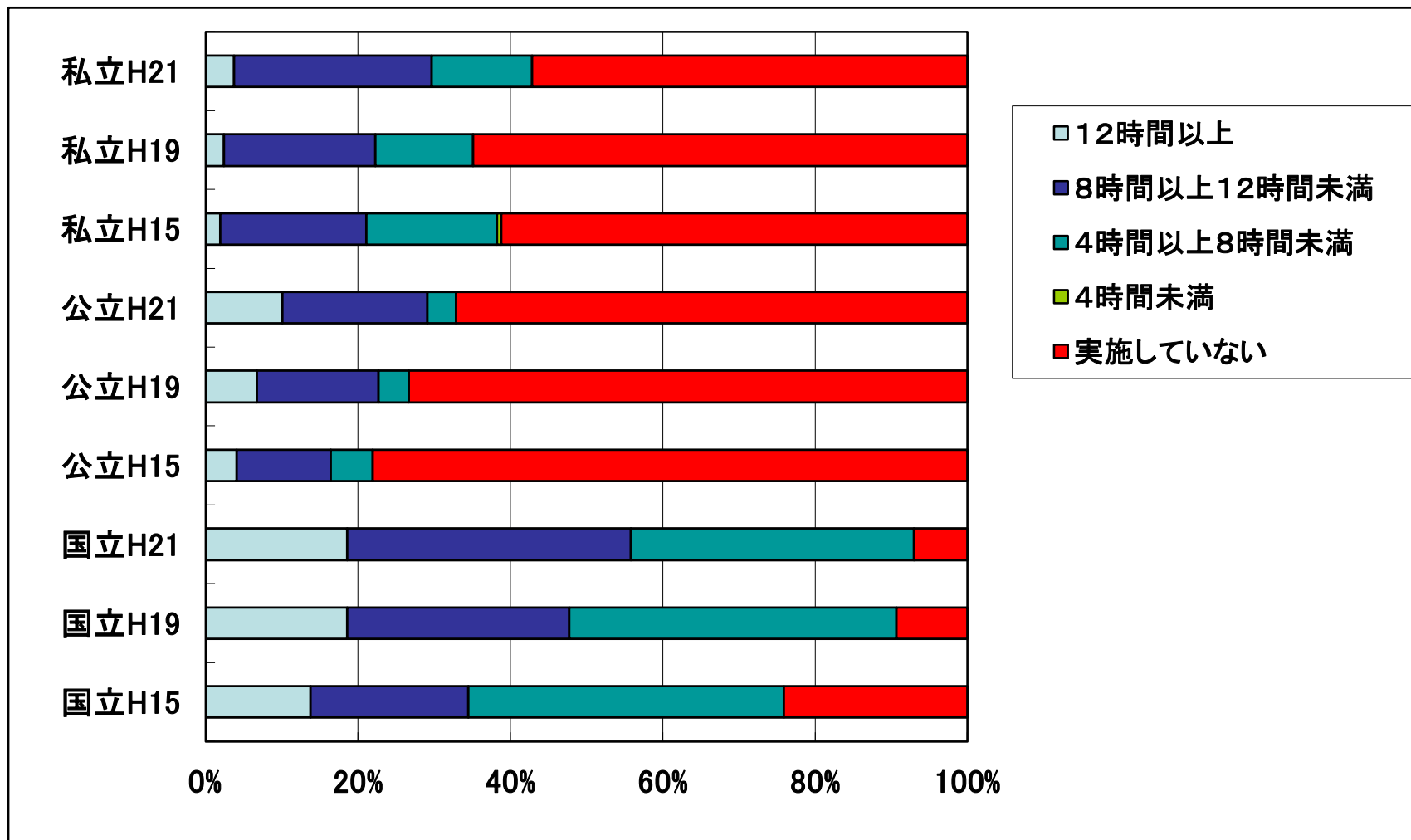
平日時間外開館実施状況

中央図書館

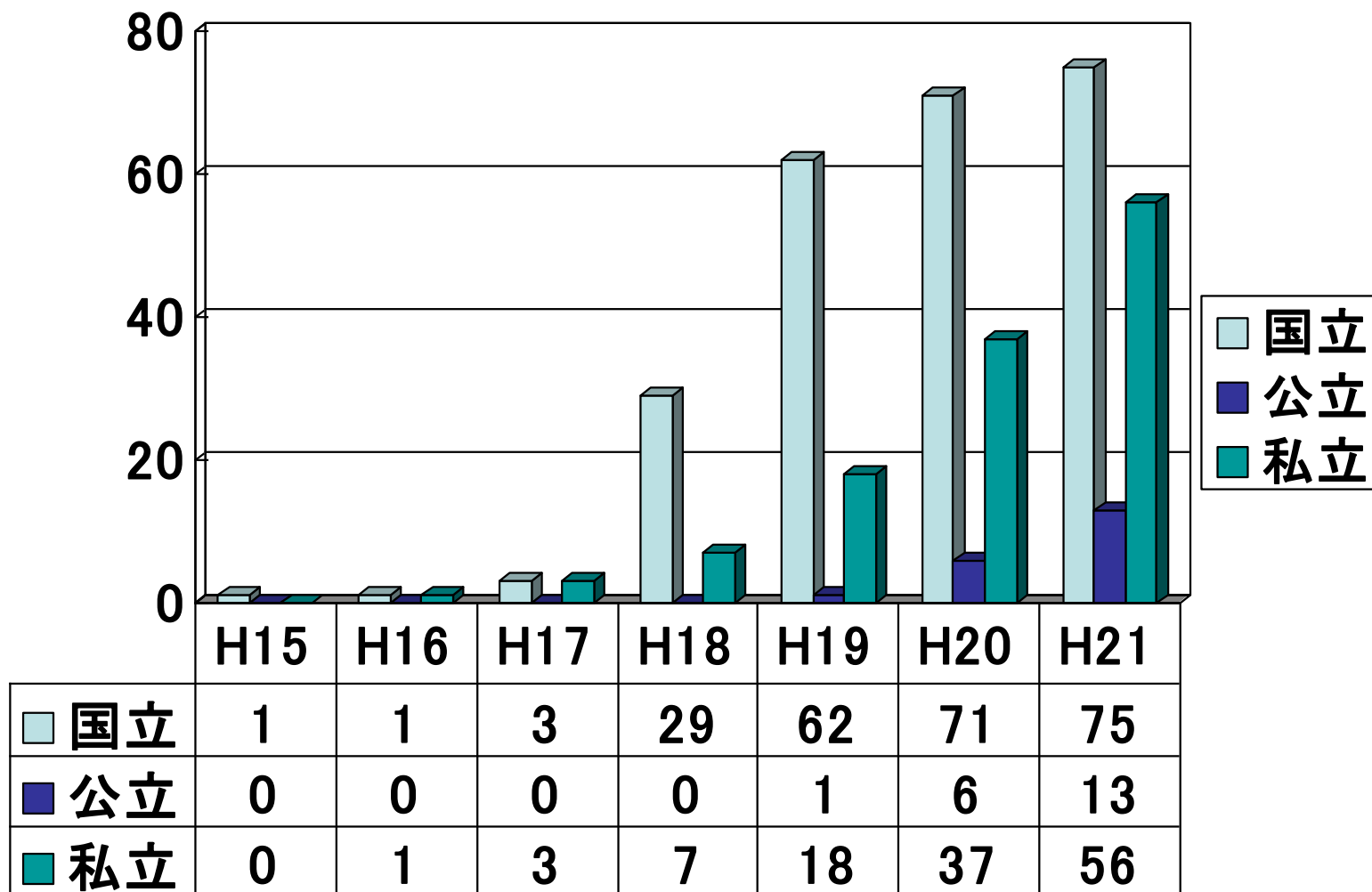


休日開館実施状況

中央図書館

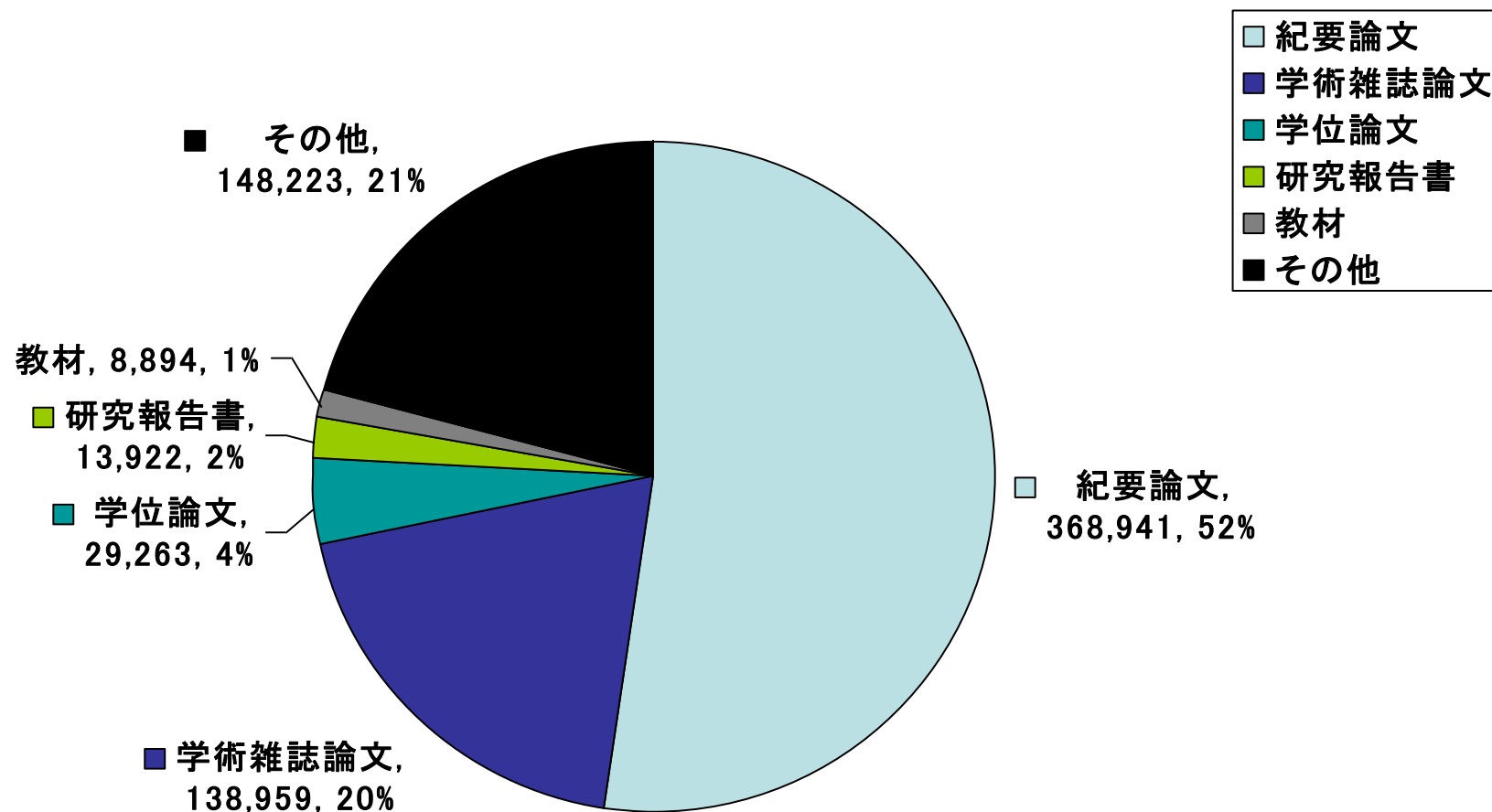


機関リポジトリ構築大学数



機関リポジトリのコンテンツ数

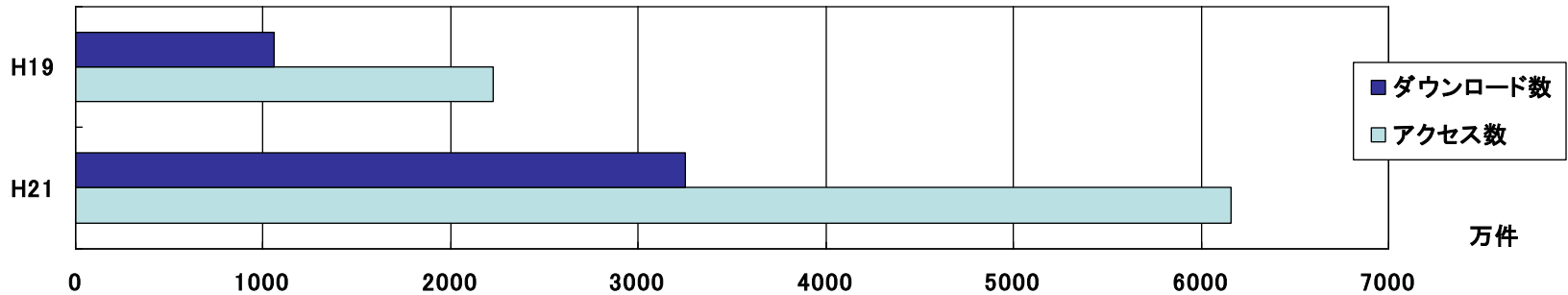
平成21年度末現在



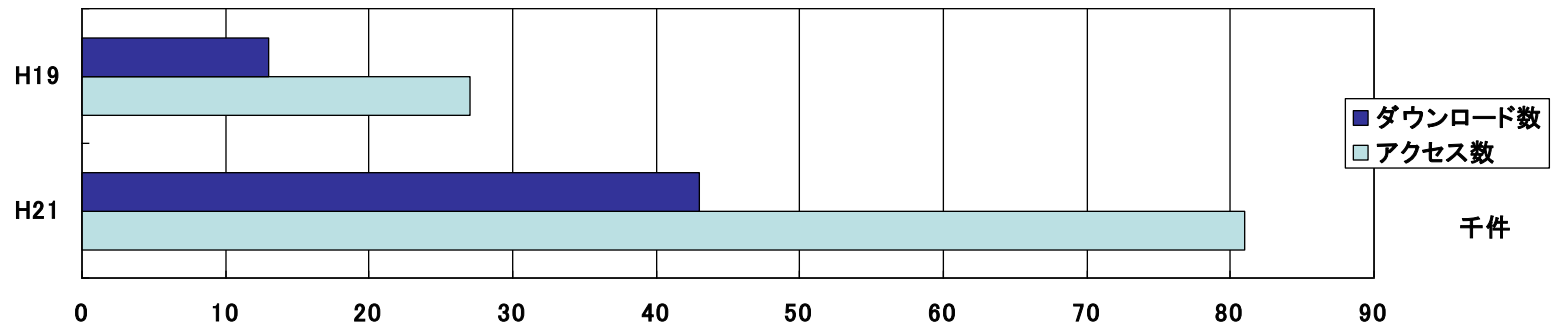
コンテンツ数合計 708,202件

機関リポジトリの利用状況

総数



一大学あたり



3.大学図書館の課題

平成22年度学術情報基盤実態調査より

調査対象：国立86、公立80、私立598、合計764大学

平成22年5月1日現在

- 組織、人員における課題
- 経費における課題
- 設備における課題
- 運営・サービスにおける課題
- 外国雑誌及び電子ジャーナルにおける課題
- 機関リポジトリにおける課題

組織・人事面における課題

1.専門性を有する人材の養成、確保	87.4%(668)
2.職員のキャリアパスの確保	34.9%(267)
3.専任館長、教員、専任職員の確保	34.3%(262)
4.非常勤職員・外部委託職員の活用	29.8%(228)
5.その他	4.6% (35)

経費面における課題

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1.外国雑誌・電子ジャーナル購入にかかる経費の確保 | 76.4%(584) |
| 2.図書購入にかかる経費の確保 | 68.1%(520) |
| 3.図書館施設設備にかかる経費の確保 | 56.5%(432) |
| 4.外部資金の獲得 | 20.3%(155) |
| 5.図書館経費の学内共通経費化の推進 | 13.2%(101) |
| 6.その他 | 3.5% (27) |

設備面における課題

- | | |
|---------------------|------------|
| 1.資料所蔵スペース狭隘化の解消 | 79.5%(607) |
| 2.資料保存・劣化防止のための環境整備 | 38.1%(291) |
| 3.閲覧座席数の確保 | 30.9%(236) |
| 4.自動化のための設備整備 | 27.0%(206) |
| 5.その他 | 14.8%(113) |

運営・サービス面における課題

1.利用者サービスの向上	80.2%(613)
2.情報リテラシー教育の充実	64.0%(489)
3.大学図書館の位置づけの明確化	55.8%(426)
4.電子情報の提供・保存環境の強化	56.4%(431)
5.社会・地域との連携の強化	38.0%(290)
6.その他	4.8% (37)

外国雑誌及び電子ジャーナルにおける課題1

①同一タイトルで冊子と電子ジャーナルが 両方ある場合

1. 冊子を収集 22.6%(173)
国立3.5% 公立21.8% 私立26.3%
2. 電子ジャーナルを収集 52.1%(398)
国立81.4% 公立56.4% 私立48.8%
3. 冊子と電子ジャーナルを収集 22.9%(175)
国立15.1% 公立21.8% 私立24.9%

外国雑誌及び電子ジャーナルにおける課題2

②購入経費にかかわる共通経費化

1. 実施	36.4% (278)	
国立81.3%	公立33.3%	私立31.3%
2. 検討中	10.6% (81)	
国立5.8%	公立15.4%	私立11%
3. 未検討	50.5% (386)	
国立12.8%	公立52.6%	私立57.4%

外国雑誌及び電子ジャーナルにおける課題3

③購入経費に係わる外部資金等の活用

1. 実施(関接経費を含む) 16.4%(125)
国立32.6% 公立9% 私立15.5%
2. 実施(間接経費を含まない) 11.0%(84)
国立2.3% 公立1.3% 私立13.9%
3. 検討中 14.4%(110)
国立23.3% 公立10.3% 私立14.1%
4. 未検討 56.0%(428)
国立41.9% 公立80.8% 私立56.5%

外国雑誌及び電子ジャーナルにおける課題4

④その他

1.購入予算の確保	82.7%(632)
2.購読種類の学内調整	41.0%(313)
3.収集方針	40.8%(312)
4.購読種類減少	24.2%(185)
5.共通経費化の学内調整	16.9%(129)
6.契約交渉	17.3%(132)
7.外部資金活用の学内調整	9.4% (72)
8.その他	5.0% (38)

機関リポジトリにおける課題

①機関リポジトリを構築している大学(114大学)

1.コンテンツの確保(著作権処理を含む)

89.5%(102)

2.実施体制の維持

71.1% (81)

3.運営資金の確保

43.0% (49)

4.その他

6.1% (7)

機関リポジトリにおける課題

②構築する方向で検討している大学(219大学)

1.実施体制の整備	70.3%(154)
2.学内合意形成	65.8%(144)
3.コンテンツの確保(著作権処理を含む)	61.2%(134)
4.運用指針の策定	56.6%(124)
5.運用資金の確保	50.2%(110)
6.システムの構築	49.3%(108)
7.その他	5.0%(11)

機関リポジトリにおける課題

③構築する予定が無い大学(427大学)

- | | |
|----------------|------------|
| 1.専門知識のある人材が不足 | 62.3%(266) |
| 2.運営資金の確保が困難 | 57.6%(246) |
| 3.その他 | 27.8%(119) |

4.大学図書館政策1

- 今後における学術情報システムの在り方について(学術審議会答申)1980年

学術情報システム構築の基礎となった答申

→ NACSIS-CATの稼動

1981年: 図書館専用計算機レンタル経費化

1983年: 文献情報センター設置

1986年: 学術情報センター設置(改組)

大学図書館政策2

- 学術情報流通の拡大方策について(報告)
1990年
- 大学図書館機能の強化・高度化の推進について(学術審議会報告)1993年
- 大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について(学術審議会建議)1996年
(1995年: 図書館高度化経費(奈良先端大))
1997年: 先導的電子図書館プロジェクト(筑波、京都、東京工業、神戸、図書館情報)

大学図書館政策3

- 学術情報の流通基盤の充実について(審議のまとめ)2002年
- 学術情報発信に向けた大学図書館機能の改善について(報告書)2003年
- 学術情報基盤の今後のあり方について(報告)2006年
- 大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)―電子ジャーナルの効率的な整備及び学術情報発信・流通の推進―2009年
- 大学図書館の整備について(審議のまとめ)―変革する大学にあって求められる大学図書館像―2010年

「大学図書館の整備について」の概要 1

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会

1. 大学図書館の機能・役割及び戦略的な位置づけ

(1) 大学図書館の基本的な機能

- ・学習や教育及び学術研究活動を支える重要な基盤

(2) 環境の変化と大学図書館の課題

① 電子化の進展と学術情報流通の変化

② 大学を巡る環境変化

(3) 大学図書館に求められる機能・役割

① 学習支援及び教育活動への直接の関与

② 研究活動に即して支援と知の生産への貢献

③ コレクション構築と適切なナビゲーション

④ 他機関・地域等との連携及び国際対応

(4) 大学図書館の組織・運営体制の在り方

① 各大学における戦略的な位置づけの明確化

② 財政的基盤の確立

③ 専門職員及び臨時職員の配置並びに外部委託の在り方

「大学図書館の整備について」の概要2

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会

2. 大学図書館職員の育成・確保

- (1) 大学図書館の業務内容の変化を踏まえた大学図書館職員の育成・確保の必要性
- (2) 大学図書館職員に求められる資質・能力等
 - ① 大学図書館職員としての専門性
 - ② 学習支援における専門性
 - ③ 教育への関与における専門性
 - ④ 研究支援における専門性
- (3) 大学図書館職員の育成・確保の在り方
 - ① 大学における養成
 - ② 大学図書館の現場における養成
 - ③ 大学図書館職員のキャリアパス